

2025年10月6日

練馬区・武蔵大学共催 SDGs をテーマにした公開講座を 11/8（土）開催 —江古田キャンバスプロジェクトと地域共生の試みを考察—

武蔵大学（東京都練馬区／学長 高橋徳行）は、練馬区との共催により、公開講座『SDGs を考える～江古田キャンバスプロジェクトと地域共生の歩み～』を開催いたします。本講座では、『住み続けられるまちづくり』や『質の高い教育』など SDGs と関連づけながら、文化・音楽・地域交流を通じた持続可能なまちの未来を紹介いたします。講師として、経済学部の伊藤 誠悟教授が登壇します。
ぜひご参加ください。

SDGs を考える～江古田キャンバスプロジェクトと地域共生の試み～

■ 講座概要

講 師：伊藤 誠悟（武蔵大学経済学部教授）

日 時：11月8日（土）13：30～15：30

会 場：武蔵大学 1号館地下1階 1002 教室

※申込窓口は練馬区立生涯学習センターですが、当日の会場は武蔵大学ですのでご注意ください。

※お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

対 象：練馬区在住・在勤・在学の18歳以上の方

■ お申込み

申込締切：2025年10月31日（金）まで

定 員：250名（先着順）

参加費：無料

申込方法：

【QRコードからの申込】



【電話からの申込】

練馬区立生涯学習センター

Tel：03-3991-1667

※講座の内容・お申込みに関するお問い合わせは練馬区立生涯学習センターにおたずねください。



練馬区・武蔵大学共催 公開講座

SDGs を考える

～江古田キャンバスプロジェクトと地域共生の試み～

「住み続けられるまちづくり」や「質の高い教育」など SDGs と関連づけながら、文化・音楽・地域交流を通じた持続可能なまちの未来を紹介し、皆様に考えます。

- ◆ 講 師：伊藤 誠悟（武蔵大学経済学部教授）
- ◆ 日 時：令和7年11月8日（土）13:30～15:30
- ◆ 会 場：武蔵大学 1号館地下1階1002教室
（練馬区豊玉上1-26-1）
- ◆ 対 象：練馬区在住・在勤・在学の18歳以上の方
- ◆ 定 員：250名（先着順） 参加費無料

<申込方法>
令和7年10月31日（金）までに
電話またはこちらからお申し込みください。

練馬区立生涯学習センター ☎03-3991-1667



—報道関係者問い合わせ先—

武蔵大学 広報部 担当：増田・五月女（ますだ・そとめ）

TEL：03-5984-3813

E-mail：pubg-r@sec.musashi.ac.jp

■武蔵大学 日本で初めてリベラルアーツ教育を行った旧制高等学校がルーツ

〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕

武蔵大学のルーツは、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立七年制の旧制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開校され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。一年次から4年間のゼミナール（小規模で対話型の授業を含む）が必修で「ゼミの武蔵」といわれる。

2020年3月には、ロンドン大学と武蔵大学とのパラレル・ディグリー・プログラムにおいて初のロンドン大学学位取得者を輩出、グローバル教育の更なる発展に力を注いでいる。

2022年4月、学園創立100周年を迎えたこの年に、新学部となる国際教養学部を開校し、経済、人文、社会、国際教養の4学部9学科となった。

2027年4月には、データサイエンス系の新専攻として、社会学部に情報社会デザイン専攻、国際教養学部ビジネスデータサイエンス専攻をそれぞれ設置する。

建学の三理想

1. 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
2. 世界に雄飛するにたえる人物
3. 自ら調べ自ら考える力ある人物

学長 高橋 德行 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1